

## 令和6年度 第3回大正区区政会議

令和6年12月12日（木）  
午後7時00分～8時31分  
於：大正区役所4階 区民ホール

午後7時00分開会

○大津区政企画担当課長

皆さま、こんばんは。定刻となりましたので、ただ今から令和6年度第3回大正区区政会議を開催させていただきます。

本日は、年末、公私何かとご多用の中、本会議に出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の司会を務めます、区政企画担当課長の大津でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、着座にて失礼させていただきます。

午後7時現在、区政会議委員定数14名のうち出席者は12名となっており、委員の2分の1以上の出席がございます。区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項に基づきまして本会議は有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に当たりまして大正区長の古川よりごあいさつ申し上げます。

○古川区長

皆さま、こんばんは。

大正区長の古川でございます。

本日、まず初めに、私、珍しく軽装で参加させていただきました。ノーネクタイの軽装でお許しいただきたいんですけども、大阪市も「関西冬のエコスタイル」ということで、適宜、自分で暖かい格好をすることによって室内温度を下げるとか、環境負荷を考えながらの施策に取り組んでいます。今般、大阪市は通年轻装スタイルというのを認めることになりました、先般、通知が出たところでございます。考え方としては同じく、環境負荷等を考えながら、暑過ぎない暖房をかけ、それぞれの心地よいスタイル、あるいは心地よい暖かさを追究するという考え方からこういう形になっておりまして、手始めに公式の場では初めて着用してみました。すいません、失礼があればお許しください。

それから、秋はいろんなイベント、地域の皆さまや工業会などものづくりの皆さんも含めまして、本当にたくさんのご協力をいただきました。ものづくりの皆さんには夏も頑張っていただきまして、「ものづくりフェスタ」など非常に大きな成果を上げていただくとともに、例えば工場見学をいろんな方に体験していただく「オープンファクトリー」というのも実施していただきました。本当にありがとうございました。

また、地域の皆さんはさまざまなお忙しい各地元の行事をこなしながら、大正区の事業「オクトーバーフェスト」などにもお越しくださいました。本当にありがとうございました。その「オクトーバーフェスト」は、今、万博のチラシも配らせていただいておりますが、来年4月13日に迫っております万博の機運盛り上げという観点から、特別に予算を付けていただいて、機運盛り上げや万博の宣伝そのものをやっておるんですが、それにプラスして私ども大正区は「エリア価値向上事業」というのに取り組んでまいりました。

エリア価値、すなわち大正区の不動産価値とか、ここで商売をやってみたいなどの期待値を上げていくことによりまして、大正区に移り住んでもらう人を増やす、あるいは元大正区民に大正に帰ってきていただくことを目指し、今までこつこつと取り組んできたわけでございます。

その側面もありまして、「大正区はいろんなことをやっているよ」という一つの盛り上げの方法として、ドイツとの交流に着目しまして、大正区では初のビールのフェスティバル「オクトーバーフェスト」を開催させていただいたところです。11月10日ですね。おかげさまで大盛況のうちに終えることができました。当日は健康のイベント、健康増進を図るため健診を受けましょうという啓発のイベントを行ったほか、こちら区役所の駐車場ではビールを飲みながらドイツに思いをはせるイベントを開催させていただいたところでございます。本当にたくさんの方が来てくださいまして、特にビールのフェスティバルだけを追いかけている「追っかけ」さんがいるんですね。推し活と言うんでしょうかね。その人たちがそろいのドイツ民族衣装を着て、本当に楽しく踊ったり輪になって手をつないだりして、そういうとても楽しい、わくわくするような取組になりました。

その方たちにインタビューすると、「大正区には初めてきました」という方が何人もいらっしゃいました。ということは、こういう取組の一つ一つを通じて大正区に注目していただき、大正区の存在価値、あるいは住み心地のよさ、居心地のよさを知っていただくというのが本当に大切なと思った次第でございます。

これまで取り組んできたエリア価値向上策では「トンボロマルシェ」というのもやらせていただきました。そういうものが功を奏したのかどうか、証拠はまだないんですけど、今日、統計データを1つ机上に、正式配布資料とは別に手持ち資料としてお配りさせていただきました。

大阪市の推計人口、一番上の表をご覧いただくと順調に増えているんです。大阪はやはり住み心地がいいんでしょうね。どんどん増えている。そして、特にインバウンドが活況でございますので、外国人相手の商売がどんどん伸びているということもあり、まず総数の人口が増えています。

じゃあ大正区はどうであったかというと、ずっと「じり貧」だったんですね。令和5年までずっと人口が減り続けました。初めてこの令和6年10月1日で下げ止まり、プラスに転じました。先ほど申したエリア価値向上策が即効したかどうかは分かりませんが、少しずつ

認知度を高めた成果とは思っております。

そして、この増えた要因の中で、上から 3 つ目の表でございます。自然動態と社会動態の推移を表したものでございますが、特筆すべきはぐっと上に上がっているこの社会増減ですね。この社会増減が 839 人増に転じました。令和 6 年 10 月 1 日現在ですね。つまり、前年の 10 月と比べていますので、丸々 1 年での人口増加ですね。こちらが 839 人増加しまして、その前の年はどうだったかというと、令和 5 年の秋は 216 人のマイナスだったので、差し引き 1,055 人のプラスという効果が出ているということでございます。

さらに、その一番下をはいつくばっている自然増減の表と比べますと、自然増減は、もちろん亡くなる方がたくさんいらっしゃいますのでずっとマイナスなんですね。マイナスではありますが、このマイナス 701 人という自然減よりも転入等による社会増 839 人が上回ったということで、ここ十数年では初めて人口がプラスに転じたということでございます。

この要因を全部分析しきれているわけではないのですけれども、大きな要因として、外国人の増加はもちろんあります。大正区だけではなく、大阪全体で外国人は増えておるんですが、大正区だけを見ても 2,055 から 2,466 と、この 1 年間で 411 人増えているということでございますので、1,000 人以上増えた大正区の総人口のうち、4 割ぐらいは外国人であったということですね。

でも、考えてみれば、6 割は日本人が転入してきてくれたということでございますので、誇らしいことだと思いまして、これまでのエリア価値向上事業にお知恵をください、いろんな発案をくださった区政委員の方にはまず最初にご報告しようと思い、自慢も兼ねてこの資料を配らせていただいたところでございます。この資料も含めて、このまち、大正の在り方、今日はフリートークのような日になると思います。

1 つ目のテーマが「鶴浜地区のまちづくりについて」ということで、鶴浜地区、もう既に売却が決まっている土地がございます。そのエリアについては、土地の地主さんである大阪港湾局が整地に入るところでございまして、鶴浜 B 地区と言うんですけども、この土地につきましては、たぶん商業施設を中心にいろんな形で事業者を探っていく形になると思います。その辺も含めまして、忌憚のないご意見を今日いただくのが 1 つ目のテーマです。

そして、2 つ目のテーマは、来年いよいよ万博本番の年になりますので、今まででは機運機運と言ってきましたが、今度は本当に万博の当該年度に一体われわれは何をつかむのかと、こういう年になりますので、大正区がこれまで機運の盛り上げを図ってきた事業の説明と同時に、来年、こんなイベントを企画していますよ、というご説明をさせていただきたいと思います。

本日は、たぶん 1 年に 4 回ある区政会議の中では最もフランクにフリートークができる回になると思いますので、ぜひいろいろなご意見を頂戴いたしますことをお願いしまして、冒頭のあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○大津区政企画担当課長

ありがとうございました。

次に、会議の進行につきましては、お手元に配布の資料ならびにあらかじめお送りさせていただきました資料を基に進めさせていただきます。

議題に入ります前に、その都度資料の確認をさせていただきますが、事前にお送りさせていただいた資料をお忘れの方がいらっしゃいましたら、予備をご用意しておりますのでお申し付けください。資料のほう、大丈夫でしょうか。

次に、本日の会議は全て公開とさせていただきます。本日撮影させていただきました動画や写真、会議録等は、後日、区のホームページ等で公開させていただきますので、ご了承ください。

なお、本日はメディアからの取材申し込みもございます。メディアによる録音や撮影もありますので、こちらにつきましてもご了承ください。

それではここで、お忙しい中、オブザーバーとしてご参加いただいております皆さまをご紹介させていただきます。

出雲市会議員です。

○出雲市会議員

皆さん、こんばんは。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

○大津区政企画担当課長

小山市会議員です。

○小山市会議員

いつもありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

○大津区政企画担当課長

金城府議会議員です。

○金城府議会議員

こんばんは。どうぞよろしくお願ひいたします。

○大津区政企画担当課長

川岡府議会議員です。

○川岡府議会議員

どうもこんばんは。お世話になります。

○大津区政企画担当課長

それでは、本日の議事に入らせていただきます。ここからの議事進行につきましては、議長にお願いしたいと存じます。北川議長、よろしくお願ひいたします。

○北川議長

皆さん、こんばんは。それでは、着座にて進行させていただきます。よろしくお願ひいたします。

それでは、早速議事に入らせていただきます。議題 1 としまして「鶴浜地区のまちづくり

り」について、区役所からの説明をお願いいたします。

○大津区政企画担当課長

それでは、議題 1 についてご説明いたします。事前に送付しております書類番号 1、鶴浜地区のまちづくりについてをお手元にご準備ください。この横書き、右の上に書類番号 1 と書いております「鶴浜地区のまちづくりについて」という横書きの資料でございます。

それでは、この資料の 2 ページ、3 ページを見ながらお聞きいただければと思います。

鶴浜地区のまちづくりについては、令和 6 年度に実施いたしました住民説明会や区民意識調査において、区民の皆さまからさまざまご意見をいただきました。

今後は、それらのご意見や本日の区政会議での委員の皆さまからいただいたご意見を踏まえまして、こちら資料の 2 ページの真ん中辺りに B 地区、商業・業務・交流機能ゾーンという土地があります。3 ページを見ていただきますと、横書きでこちらは絵といいますか図のほうになっておりますけれども、真ん中辺りに B 地区、商業・業務・交流ゾーンという土地がございます。この土地につきまして売却を考えておりまして、土地の所管局であります大阪港湾局と協議を進めて、令和 7 年度売却に向けて手続きを進めていく予定でございます。

なお、資料の中身につきましては事前にご確認いただいていることから、詳細の説明については割愛させていただきます。鶴浜地区のまちづくりについて、委員の皆さまからご意見を伺いたいと思います。

○北川議長

ただ今、区役所から説明がありました鶴浜地区まちづくりについて、何かご質問、ご意見などございませんでしょうか。

たくさんあると思うんですけども。柊さん、いかがですか。

○柊委員

鶴浜地区で大きな土地が売却されるということで、私の在籍している日本語学校の学生たちも、ここ近くまでアルバイトに行ってたりするんですけども、自転車で行くとしても大体 30 分ぐらいはかかるということで、交通の便をいかに解消するのかなというところがあります。例えばtramを、ちょっと難しいと思うんですけども、造るとか、バスは高速のバスがあるとは思うんですけども、それ以外にも何かあればありがたいかなとは思います。

○北川議長

ありがとうございます。

それでは次に、大石さん、いかがですか。

○大石委員

私、鶴町に住んでますんで、鶴町の住民としては手早く開発をしていただきたいな。空き地のままで置いてあるというのが一番つらいんで、何らかの形で、希望すれば大型のショッ

ピングセンターとかそういうような。というのは、今、鶴町自体にスーパーが、ちっちゃなかわいらしいスーパーが 1 店舗あるだけなんですね。高齢化が進んでいる中で、買い物に非常に苦労している年寄りが多いんで、そういう意味ではどつか一角に、そういう商業施設ができたら助かるなというのは思ってます。

○北川議長

ありがとうございます。

北方さんはいかがですか。

○北方委員

説明会でいただいた意見 1 とか、いろいろ読んでみたんですけど、私が働いている時に市バスしかないですよね、大正区。私は泉尾に住んでいるんですけど、鶴町いうたら相当距離ありますよね。バスでね。バスしかないのにバスの数が減っている。ほんで、私、南泉尾におるんですけども、急行があるんですね、朝。急行が止まるところ、ほんまに決まっているんですよ。あれは数をちゃんと調べて、乗る人をちゃんと調べて、急行は止まるところ、決めているんだと思いますけどね。私ら見てたら南泉尾なんかほぼ止まらなくて、乗られないことがよくあったんですね。

そういう現状で、またこの鶴浜地区のいろんなものができること。ほんたら、バスしかないところで、また乗り遅れるというのかな。そういう交通の便というのをすごく考えていただいて造るというのはすごい大切じゃないかなと思います。

○北川議長

ありがとうございます。

木幡さんはいかがですか。

○木幡委員

私は以前から、鶴浜地区に学校ができへんかなあというのをずっと思っていました。学校ができると、若い学生さんとかがあそこに通りに来てくれて、もちろん地元からのご要望でいくと、買い物とか、そういうところを充実してほしいというところあると思うんですけど、商業施設系は集客のところもあると思うし、確かに IKEA さんとか東京インテリアさんとかあると思うんですけども、ここにもあるように、そこへ行くだけが目的でみんな帰ってしまうというところがあると思うんです。学生とかが集まるようなところができると、学生さんはそこである程度、日常の買い物みたいなのもするでしょうし、例えば学校ができるとしたら、どんながええかなということを考えたことがあります。僕らからすると、この間からの議論で高校がなくなってしまうみたいなこともあるんですけど、専門学校的なものであるとか、ものづくりの立場からすると工業関係の学校とか来たらええなとは思うんですが、それは僕らの立場だけで。

逆に一方、高齢化が進んだり、いろんな介護の問題を抱えてはるところがあるとしたら、例えば医療系の看護とか、そういう在宅医療に関するような例えば学校とかが来たら、す

ごくいいん違うかなと思います。実際に現場としては、そういう在宅医療も要望されるようなどころってたぶん出てくると思うので、そういう専門的な学びができる、地域で例えば実習的なことができるとか。そうすると総合的に町の中で、そういう仕組みが出来上がるっていうことにつながるんと違うかなと思うので、本当はそういう介護とか在宅医療系の専門の教育機関があつたらいいん違うかなと思ってます。

特に在宅医療ってこれからどんどんどんどん重要になるんですけど、大学にても、それを専門に教えているとこって全国的にも全然少ないみたいですね。逆に言うと、そういうフィールド実習もできるようなエリアにそういう専門教育機関ができる、若い人も集まって、そういう人が集まることがあれば、商業施設も並行して成り立つん違うかなと思うので。単にショッピングセンターとかというとこだけでいくと、商売上、それが成り立つんかどうかって商業の場合は考えるので、なかなかいい施設が来てくれるかどうかも分からんとは思うですが、そういうその土地を機能させるという意味で、何かそういうのがあつたらいいん違うかなと以前から思っているところです。

以上です。

○北川議長

ありがとうございます。

ほか。南さん、どうぞ。

○南委員

すいません。忘れそなんで、先、言わせてください。

これ読んでても、大体基本的にはほとんど交通の便の話になってくると思うんですけど、バスがあんだけ走ってて、何で交通の便が悪いんだろうということを考えると、渋滞して時間どおりに来ないとかという話になってくるので。一番、今、他の区でもやってるのはオンデマンドバスやと思うんですけど、結局、オンデマンドバスも、結構呼ぶの煩わしかったりとか、高齢者が使われへんみたいないろんな問題があって。僕、去年、今年と、韓国と台北と行ったんですけど、韓国なんかは完全に真ん中にバスレーンがあるんですね。なので、渋滞しないんです、バスだけ。周りは渋滞しますけど。

なので、ずっとど真ん中に対向でバスレーンを造ってて。それやとほんまに、そんなに予算かからないし、右折、左折の時はちょっとややこしいかもしないんですけど、比較的お金かけずに時間どおりに来る交通機関にバスが化けるんじゃないのかなというところで。韓国、ソウルと、もう一個どこやったかな、名前が出てけえへん、大都市だけですけどね。そういうのが整備されると、これはすごいなあと思って。端っこ走るからあかんのかあと思って。真ん中を確保してしまえば、すごくスムーズに流れてたので、非常に便利なシステムやなと思って見てたので、大正区も大正通り、いっぱい車線があるので、やろうと思ったらできそうやなあと思って。逆に端っここのバスレーンが混まなくなるので、渋滞の緩和にもなったりするかなというところで、ぜひいかがでしょうか。

以上です。

○北川議長

ありがとうございます。

だいぶ出てますけれども、藤田さん、いかがですか。

○藤田委員

ちょっと確認したいんですが、この赤く囲まれているところ 1 カ所を、1 カ所の法人なり誰かに売却するのか、あるいは分割で半分半分、例えば学校法人さんと商業屋さんにということができるのかどうかというのもあったりすると。これを一つで全部売却、買わないといけないとなると、かなりご負担が出てくるところもあるのかなという部分と、先ほどあった交通の便が少し気になります、私も鶴町で働いておりますので。ただ鶴町、私は 3 丁目のバス停なんですけど、3 丁目のバス停から難波とか大阪行きとか乗る、阪神とか行く時は、まだお客様少ないんで、必ず座れるというのがあってうれしいんですけど、ただ本数が少なかつたりとかですね。特に天保山行きなんか、1 時間逃したら、また 1 時間待たないといけないということになりますので、そういう辺りのバスの上手な使い方ですね。

それからあと、先ほど学校のことがありましたけれど、ちょっと外れるんですが、例えば、私、今、幸楽園というところで働いていますが、職員募集の時に、新卒で専門学校とか短大とか求人していく時に、今の学生さんは自宅から 30 分ぐらいが通勤距離でと。そしたら、鶴町だと大正駅から約 20~30 分バスに乗ってきますので、その界隈の人じやないと来れない、新卒の方はですね、というふうな感じになってしましますので、その辺りがまた住居を造るのがいいのか、いろいろと私も悩んでおりますけれど。先ほど最初に言ったように、この大きな土地を大きな土地のままなのか、分割か 3 分割ができるのかということも確認をしていきたいと思います。

○北川議長

ありがとうございます。

他どなたか。中島さん。

○中島委員

中島です。本来なら、ちょっと前に提出しなきやいけなかつたんですけど、思いがまとまらずに今になってしまいました。

まず、大正区民の意見というのと、それから今現在、鶴浜に住まれておられる地域の人たちとの意見ってちょっとずれがあるかもしれない両方を見てみようかなと思いまして。大正区民の提案としては、例えば B 地区にリトル沖縄のような、今ちょっと小林だとか、この辺が廃れてはきているんですけど、もう一度リトル沖縄だとか、先ほどドイツの交流事業ということで、そういうものの施設を造るとどうなのかなと。

それから、B 地区なんかは、もしうまいこといけば、果実園なんかを造って、うまく実れば小学校の給食に配布するとか、そういう地産地消のできるような果実園を造ると。それで、

樹木があると水防の面でもいいと思うんで、そういういたものを、大正区民の意見としてはあるんです。

ただ、鶴浜の区民の方たちにしてみれば、やはり商業施設と交通の便ということで、地下鉄、もう一度再考できないのかなと。それからあと、タグボート大正あたりから船を出してぐるっと回るような航路をつくれないのかなと。そうすると、そこに渡し船に乗っているような自転車だとか、そういういたものも乗せれるような航路をすると、割と一直線で鶴浜の端っこのほうまで届くと。

だから、バスの充実、地下鉄、そういういたものと同時に、そういう航路をつくると、大正区らしいまちづくりができるんではないかなというふうには思ってます。

それから、もう一つ、この商業地区なんですけど、普通例えば、実名出してあれですけど、イオンとか、コストコとか、そんなものは採算性が取れずにたぶん誰も来てくれないと思います。以前僕が小さい頃、公設市場っていうのがあったんですね。廃止になりましたけれども、もう一度、大正区の公設市場っていうのをつくれないのかなと。家賃だとか建物は大阪市、大正区が負担すると。そこで商売をやってくれるような人たちを募集して、まずは家賃は大阪市が持つから、取りあえずそこで商売やってくれというようなスタイルを取って、何年後かには採算が取れるようになって住民たちが増えた時には、初めてそこから家賃を取っていくというような、そういうシステムが、行政ならではの施策ができないのかなっていう意見を一応用意はしておりました。

以上です。

○北川議長

ありがとうございます。

それじゃあ土井さん、お願いします。

○土井委員

少し中島さんとかぶるんですけども、航路の話で。大正駅からは一番遠いんですけども、間もなくできるIRに一番近い地区の一つと思うんで、こっちに航路が開ければ、IRから近い主要の町みたいな感じで位置付けができたりするのかなと。ただ、それでも大正駅と鶴町の間に、もう一個ぐらいポイントが必要かもしれませんけれども。

本当に何をやってもインフラの話で、でもなあみたいな感じの資料になってしまふんですね、考えたら。ここからは聞きかじりの知識で、真偽が分からんで申し訳ないんですけども、港区の天保山の先でスカイドライブが、空飛ぶタクシー、あの実証実験の場として名乗りを上げて、結局、成功したとは言えないんですけども、そういう感じで土地活用、恐らく港区主導でしたんかなということを思っているんですね。

さかのぼって 2020 年の東京五輪の時に無人タクシーを走らせるっていう話があったんですけども、東京でね。政府は言い切ったから、必ずこれは実現するんやろなと思ったもんなんですよ、2016 年ぐらいにね。そこからふたを開けてみたら、全く無人運転っていう

のが進んでなくて。ただ、その時思ったのは、この無人運転ができたら、大正の南のほうの価値観が一気に変わるなと思ったんです。駅がなくとも、電車がなくとも、交通の便を気にせずに暮らせると。なおかつ、まだ地価も安いところでみたいな感じの売り出しがもうすぐできるんちゃうんかなと10年ぐらい前に思ったんですけれども、結局進まずというところで。

話戻って、大正区が自動運転の、無人運転の実証実験の場として、こういう土地の活用じゃないんですけど、名乗りを上げるのってできないのかなとかふと思いました。本当にいろいろ説明会で意見出てるんですけど、きっと大正区が抱える問題ってそこまで多くないと思うんですけども、ちょっとでも前へ進めたらいいなと思います。

以上です。

○北川議長

ありがとうございました。

堀江さんは何かないですか。

○堀江委員

皆さんからええ意見がたくさん出てまして、インフラの話、交通網の話はし出すと切りがないんですね。これだけ広い土地ですから、例えばこのグラウンドも、今、ほったらかしのままでですが、反対にもっと素晴らしい野球場を造って、有料ででも集まるようになるとか、発想を変えてしまわんと。

民間でこの維持費かかってたとかいう話も聞きますから大変やったというのと、それと上からこうやって見回していただいたら、この荒井商事さんのご商売は、僕、詳しくは知らんのですが、中古車の車がたくさんある、美觀にももう一つ、いつの間にここを売られたんか僕らは分からんのですが、民間の土地やったとは思うんですが、これが入り口のネックのような気がするんですが。

そこらも踏まえて、先ほど医療関係のとおっしゃったように、できてしまうと、例えばどうしてでも困った方はお見えになるわけですから、そういう形を取って、卵が先か何や言いますけど、造ってしもうて、そこに集まるような本当に喜ぶようなものが。いまさら、ほんまにコストコや、そんなもん欲しくないと思いますんで。人が集まってくれれば、小さなスーパーも、イオンとまでは言わんでも、小さいライフさんが出してくれるとかいうようなことがあるんやないかと思うんで。こんだけの土地ですから、せっかくですから、ほんま何とかやっていただきたいと。

先ほど真ん中をバス走らすと。僕は真ん中を列車、路面電車、2~3両のをずっと走らせたらええなと日々思っている。そういうようなことを発想してやっていっていただきたいというのは、私らもあと何年元気でおれるか分かりませんが、皆さんの若い方の、これからの大正区考えたら、本当に真剣に考えていただいてやっていただきたいというのは思う次第でございます。

○北川議長

ありがとうございました。

藤田さん。

○藤田委員

この土地に対して打診は来ますでしょうか。例えば、あそこが空いているけど、大正区さんはどう考てるんだ、こっちちょっと使わせろとかっていう打診が1回でも1件でもあるのかどうか、確認したいと思います。

○北川議長

ありがとうございました。

姉川さん、どうぞ。

○姉川委員

僕も結構木幡さんと考え方はかぶるんですけれども、大正白稜高校がなくなり、泉尾工業高校もなくなるっていうところでいうと、住むにしても、ここに通うにしても、若い人のいる町ではなくなってくるんかなと思います。せめて大学であったり専門学校みたいなんができるれば、若い人の大正区における滞在時間っていうのは少なからず増えるのかなと思うので、できたらそういう学校関係の施設、イメージ的には南港にある森ノ宮医療大学みたいな、ぼーんって建っていますけれども、イメージ的にはそんなんなんかなと思っています。

実際それで、どこまで鶴浜っていうところがにぎわうかっていうのは、すぐにはたぶん難しいとは思うんですけども、スーパーとかじゃなくても、そういう若い人がいれば、たぶん1人暮らす方もいらっしゃるでしょうし、その近くに住めば、その近く、商店街であったりお店なんかもできるのかなと思いますので。僕もすごい滋賀の田舎の大学に行ってたんですけども、だんだん学校が大きくなるにつれて、遊びやったそこも、駅の周りだったんですけども、駅の周りがどんどん開発されていって、いろんなお店ができたりとかしてましたので、そういう学校から、鶴浜も含めてですけれども、他の例えば南恩加島とか小林、あの近くの地域も少しほは還元されるんじゃないかなと思ってはいます。

言われたように、特に医療系の大学とかできたら、そうやって地域のところへ実習行ったりとかして、ここで働くのもいいかなとか思ってくれたら。すごい、藤田さんも思っていらっしゃるかもしれないんですけど、大正区って本当に敬遠されるんですよね、場所として。

港区とかにも同じ、うちも医療施設が、介護施設があるんですけども、そこはすぐ集まるんですよ。なぜかといったら駅から近いっていうのがあるので。そういうことも考えたら、集まる、若い人の求人っていう部分も考えれば、そういう医療系の大学とか福祉系の大学ができるれば、大正区の魅力も学生時代に知つてもらえて、ここで働くかなとか思ってくれないかなと淡い期待をしてますので、そういうのも検討いただけたらなと思います。

○北川議長

ありがとうございました。

そしたら最後、姥さん、何かあります。

○姥委員

姥です。

この資料を読ませていただきて、私、あまり鶴町って知らないんですけども、何かスーパーが小さいのがあるということで。鶴町の方は裏のバスに乗ってガーデンモールに来てるん違うかなというのが。裏のバス乗った時に降りられて、またそこから乗ってきてはるんですね。だから、鶴浜のほうにそういうスーパーができれば、私、小林なんすけれども、小林の方がバスに乗って鶴町の商業施設に行ったり買い物したりできるん違うかなあと思っています。それと、何か薬局とかそういうのがあまりないみたいって書いてあったんで、それはちょっと不便だなというのを感じます。だから、鶴浜にもう少し人が出入りするような施設を造っていただいたらありがたいなと思っております。

以上です。

○北川議長

ありがとうございました。

いろいろ問題点出ましたけれども、あと区役所のほうで、よろしくお願ひいたします。

○古川区長

今日はフリートークが多いので、ほとんど区に担当者がいないんですね。いるものもありますけど、私が答えられるものは全て答えた上で、補足があれば各課長から答えてもらおうと思います。

ご発言順に行きますか。交通の便をもっとよくしてという、これはまさに地下鉄のあるなしというのが最初に、柊さんの話ですけど。本当に大きな柱になってくる議論なので、これはこれで引き続き諦めずにやっていく議論かなあと思います。この地下鉄の話が出たびに裏返しにあるのが、こんなに便利なバス路線を持っている区は他にないぞという話で、この本数がこれ以上減ってしまった場合、北方委員の言うように、減ってしまった場合、果たして皆さまの利便性がキープできるのかと、この問題と裏腹で相反する議論をしながら進めていかなければいけない話だなとは認識しております。

それから、地元、大石委員の空き地のままはつらいので、どこか一角、商業地ができればという、この一角という言い方が、全部商業地でなくてもいいからということもお含みおきなんでしょうけど、その辺が藤田委員の話ともちょっとかぶってくる。これは、土地を全部丸ごと高く買ったもの勝ちというふうにするつもりは区長としてはありません。なので、その中身ですね。どんな中身を提案してくるのかということも含めて、売却の審査にかかっていくような方向で、地主である港湾局には私からお願いしていますし、その私の意向は無視することはないと思うので、もう少し期待して待っていただければと思います。

藤田委員の話にありました、B地区は分割できるのかという話ですけど、提案の中で分割することはできると思いますが、一応一体の土地として提案をする、あるいは入札をする、

提案が入札になるかまだ決まってませんが、そういう土地であることは申し添えます。港湾局が分割する予定はないということですね。それから、打診はあるのか？については、マーケットサウンディングを令和5年度末からやってまして、打診はあるそうです。全く箸にも棒にもかからないという、今そういう中での売却検討ではないということはご安心いただきたいと思います。

そして、木幡委員の話に戻ります。やっぱり学校が欲しいなということ、前からもお話しされていましたけれども、これは姉川委員ともかぶるところです。高校の閉鎖等がものづくりの企業の皆さんには本当に痛手だという話、そしてまちから若い層が消えるということのご心配は本当にごもっともだと思っております。こちらは鶴浜の問題だけでなく、大正区には大正高校ですとか、もともとまだ利活用が決まってない廃校跡地もありますし、それからこれから検討の俎上にのってくる泉尾工業、そして白稜高校の話も高校の跡地活用という大きな問題にしてセットで考えていきたいなと思っております。これが、私、本当に任期最後にやり残していることなので、ぜひそこはしっかりと議論を開始したいなと思っております。

それから、それで学校ができるかできないかについては、後で大津さんに補足してもらいますが、用途指定があるんやね。

○大津区政企画担当課長

鶴浜地区には地区計画が導入されていて、B地区は商業・業務・交流ゾーンとなっていますが、学校を建設することは明確に禁止されているわけではありませんので、まったく検討の余地がないとは言えないというところでございます。建築基準法等に明記されているパチンコ屋とか、マージャン屋とか、キャバレーとかは建設出来ません。

○古川区長

港湾局の定めた地区が「にぎわい地区」だということで、そのにぎわいを確保しながらどこまで学校的なものが認められるかと、そういう議論になってくると思います。

それから、南委員の話ですが、オンデマンドバス、こちらは確かに大きく考えられる案の一つなんですね。実際それをやっている生野区でしたか、幾つかの区でやってますけれども、なかなか採算性と合わせていくと難しいということは聞いてますね。割と都心部を、福島とかと結んでいるところは何とか採算が合うんじゃないかという話も出ておりますが、どうしても周辺区と結んでいるオンデマンドバスは採算が難しいねということで、これは大阪シティバスが組んでやる場合は、採算ぎりぎりでも参入してくるので何とか成立しているというような形で、今、試行的に行っているのが現状でございます。

それから、韓国の話をされてました、南委員ね。本当に私も外国を見てびっくりするのは、やはり大胆ですよね。日本みたいにそもそも道路幅員が狭くないんでしょうね。割と広いところだと大胆な都市計画とバスルート、あるいは交通制限をかけているなと思いますが、日本の中でそういう制限をかけながら、かつ真ん中を走った上で端っここのバス停に止まる

のか、バス停を真ん中につくるのか、その辺、頭の切り替えが日本人にとって必要なんだなと思いながら拝聴しました。

それから、中島委員のリトル沖縄の町、ドイツとの交流の町、これは本当に地元ならではの発想で、この辺も含めまして、もし提案をする余地があれば、事業者のほうが、それも加味していただけたうれしいなとは思います。

また、緑地のところにも活用策、ご提案いただきありがとうございます。果樹園というのは、なかなか確かに大阪市内にはないかもしれませんね。面白い発想だなと思います。地産地消というところと絡めたのも本当にありがたい発想だと思います。

それで、やはり中島さんも地下鉄をもう一度というところで、地下鉄は先ほど申したとおりなんんですけど。タグボートからの航路につきましては、確かに鶴浜岸壁というのがありますと船は着けられるんですね。一応、防災岸壁みたいな形で開業しているもんですから、なかなか通船というんですかね、定期航路の小さな船をというイメージがあんまりないので。

そこら辺は、例えば大阪市の港湾局を中心に舟運活性化の関係区委員会というのを開いたことがあるんですね。その検討会の中で、一度、鶴浜までのルートを試して試行で運航してみたことはあるんですけども、なかなかそれを定期にするには、お客様の見込みですよね。要するに採算の話が出てくるので、その辺をどうするのかという、そこは船舶の事業者の提案次第かなと思っております。

それから、土井委員の話で、私のやり残したことと本当にすごくマッチしているんですけど、まず大正区は直線距離ではIRエリアと割と近いんですよね。割と近いんですけど、ルートが南港回りか此花回りか2種類に分かれています。大正区は通過点になりかねないという心配をしております。南港を回った場合は、地下トンネルで夢洲に行けます。それから、北を回った場合、此花を回った場合は夢舞大橋という橋で渡ることができます。ということで、それぞれ此花区さんや住之江区さんは、割と地の利を実感していると思いますが、ちょうど真ん中にある大正区がまた置いてけぼりになりかねないということで、私も一番もったいないと思っているところで。

あまり外では言ってないんですけども、そのルートをもしさらに何らかの形で短絡、短く結ぶことができて、大正区へのアクセスがもし向上した暁には、IRの関係者が住む社宅を誘致するとか、その辺を私の施策としてやろうと思っていました。IRの工事中の雇用創出効果っていうのはものすごく大きいんですけども、それだけではなく、工事が終わって通常営業としたとしても1.5万人は従業員がいると言われています。さらに下請けも含めたら相当数が入ってくると思うので、その一部でも大正区に社宅として住んでいただくということは、私の頭の中に常にある話でございます。

それから、もう一個、これも私の頭の中にあるんですけど、バスの利便性と裏腹にはなりますが、「自動運転」には大正区は本当にふさわしい町だと思っています。ご承知のとおり、海を埋め立て、なおかつ嵩上げをして道路を平たんにしたというのが大正区の特徴でござ

いますので、どこまで行っても坂がないんですね。坂がなく、かつ大正通を背骨として碁盤の目のように新しく整備したまちですので、とっても自動運転しやすいまちだと私は踏んでおります。なので、もしさんな機会が訪れたら、例えば自動運転特区のようなものを申請して、ぜひ大正区に真っ先に誘致できたらなというふうには考えているところでございます。アイデアとしては、本当に私とぴったりだなと思っております。

それから、堀江委員がおっしゃったように、空から見た地図、もったいないところがいろいろあるよねというご指摘です。確かに、この中古車センターに使っているところは長期貸し付けだと思うので、そのままこの会社が使うわけではないんですけども、確かに暫定利用だとしても、ちょっとこのままではもったいないと、高度利用が図られてないのでね。その辺を含めてある程度…タワマンが建つことはエリア的にはありませんけれども、もう少し高度利用をして便利なまちにするという必要はあるなと考えております。

路面電車もいいんじゃないかというご意見いただきました。どっちかですよね。オンデマンドか、自動運転車か、路面電車か、いろいろ悩むところだと思います。

それから最後、姥委員ですね。鶴町の方もガーデンモールまで買い出しに来ているんじゃないかなと。確かに大正区役所前のバス停前のスーパーで鶴町の方に会うこともありますし、皆さん工夫されてこちらまで来て買い出しがれているなと思っております。その辺、地元で、バスに乗ってわざわざ買い出しに行かなくてもいいまちになることをまず第一にして、さらにプラスで利便性の高い、あるいは夢の語れるまちにしていくことが大事だなと思って拝聴しました。

すみません、長くなりました。課長で補足がある方はどうぞ。全部しゃべっちゃったかな。  
○北川議長

どうもありがとうございました。

まだまだ意見があろうかと思いますけれども、時間に限りがございますので、まだまだ思い付いた意見ありましたら、ご意見シートに書いていただいて提出していただきたいと思います。

それでは、これで議題1を終了させていただきます。大変重要な意見をいただきましてありがとうございます。これらの意見を、今後、鶴浜地区のまちづくりに生かしていただきたいと思います。

それでは、次の議事に移させていただきます。議題2「大阪・関西万博の来場促進等の取組について」、区役所から説明をお願いします。

○大津区政企画担当課長

それでは、議題2についてご説明いたします。ご説明の前に、本日お手元にボールペンとウェットティッシュのほう配布させていただいておりますが、こちら大正区役所オリジナルの万博啓発グッズでございますので、ぜひお使いいただければと思います。

それでは、事前に送付しております書類番号2「大阪・関西万博の来場促進等の取組につ

いて」、横書きの資料でございます。こちらをご用意ください。

大阪市は、大阪・関西万博の理解促進や期待感の向上に向けて、大阪・関西万博の機運盛り上げをめざしたイベントの実施や広報に取り組んでいるところでございます。今回、この書類番号 2 におきまして、現在、大正区役所におきまして令和 6 年度に行いました取組の実績と来年度、令和 7 年度の取組予定について資料を作成させていただきました。

本資料の 4 ページから 9 ページにかけまして、冒頭、区長のほうからもお話をありました、令和 6 年度に取り組みました「大正オクトーバーフェスト」も含めた取組について記載をさせていただきました。

資料の 10 ページからなんですかとも、こちらが令和 7 年度、来年度に取り組む予定ということで、10 ページから最後のページ、15 ページまで取組を書かせてもらっております。

なお、この資料の詳細につきましては、事前に確認いただいているということから、詳細の説明については割愛をさせていただきます。

大阪・関西万博のこれから来場促進等を図る取組、進めてまいりますけれども、委員の皆さまから、またご意見のほうをお伺いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○北川議長

ありがとうございます。

ただ今、区役所からの説明がありました大阪・関西万博の来場促進等の取組について、ご質問の方、よろしくお願ひいたします。どなたか。

どなたかないですか。

姉川さん、どうぞ。

○姉川委員

「オクトーバーフェスト」、行かせていただきました。おいしかったです、いろいろ。

7 年度の取組予定のところなんですかとも、ごめんなさい、ちらっとしか見てなくて、書いてたら申し訳ないんですけど、会場ではいろいろ大正区の主催とかで取り組まれるというふうに書いているんですけども、会期中に、例えばもっと行ってくださいねというような、この区内で先ほどやった「オクトーバーフェスト」とか、ドイツの方との交流とか、それ以外の万博にちなんだイベント的なことっていうのは区内ではされないんですかね。ちょっと教えていただければ。

○大津区政企画担当課長

15 ページの下のほうですね。万博国際交流プログラムといいまして、国の事業なんですかとも、万博を契機に、万博参加国・地域と交流しませんかっていう話が国からあり、大正区はドイツとゆかりがございますので、ドイツと交流をしますということで手を挙げさせてもらって、令和 6 年度、7 年度の 2 年間、万博の会期前、会期中、会期後の 3 段階に分けて取組をすることにいたしました。会期前の取組が先日実施いたしました「大正オクトーバーフェスト」とか大正フロイデとの合同公演、あとドイツのハングルクから合唱団に来て

いただけまして、大正フロイデや小学校と交流等もさせていただきました。

会期中は小学校、中学校がもし校外学習で万博会場へ行くのであれば、ドイツのパビリオンを訪問してもらって何らかの交流をしてもらいたいと思っています。

会期後は日本に住んでおられるドイツ人の方をお招きいたしまして、ドイツ文化を紹介する講習会とかをやりたいと思っています。ドイツとすごくゆかりのある方と今お話を進めさせてもらっているんですけれども、筋原区長の時代に区民まつりでドイツのブースを出してボードゲームをやっておられたとのことで、すごく協力的なお方ですので、対象は子どもたちにするのか地域の方にするのかは考えますけれども、これらの取組をやっていきたいと思っています。

○北川議長

ありがとうございます。

ほかにどなたかございませんか。南さん。

○南委員

企業的なところで、僕らも何かしら絡みたいなと思って、一応出展も団体でやるんですけど、もう一つ僕ら自体も盛り上がりがれてないところがあって、共創チャレンジでみんなでやるぞとかいろいろやったけど、あれどこ行ったんやろみたいな話で。1社単体で何かそういう出展するところは結構頑張ってやつてはるんですけど、僕らみたいに集合して何社かでやるところは、もう一つ盛り上がりがれてないなというところがある。

その中、先週たまたま久しぶりに会った人に「まちごと万博って知っている」って言われて。一応、協賛団体には、大阪市、大阪府の万博推進局も入っているので公的なやつなのかなと思うんですけど、港区の山口区長に聞いたら「知らん」と言うてはったので、あんまり区長レベルでも情報が入ってきてないみたいなんで。何せ僕らも絡みたいし、盛り上げたいなと思うんですけど、何をきっかけにどうしていいかが分からへんというところで。このまちごと万博さん、最初に書いてたのは、万博は舞洲、咲洲、あの辺だけじゃないと。大阪市全体、関西全体をパビリオンやと捉えてやりましょうというところで掲げてはるので、ここに乗つかるのもありなのかなというところでちょっと興味を持って見てたんですけど、何か情報あつたりしますか。

○古川区長

まず1つ目、共創チャレンジなどで団体枠でいろんなものに応募しましたよね。確かにあれがホームページに載つけてあげますって万博局に言われて、博覧会協会のホームページの一覧に載っているんですけど、その各団体がどんな取組で、どこで何をするのかっていうのがいま一つ伝わってないですね。あれですよね。ものづくり事業実行委員会のやつは、どういう顛末になりそうなんですか。先に質問ですいません。

○南委員

あれ、どうなってましたっけ。商工会議所さんとか大信さんと一緒にやるヘルスケアパビ

リオンのやつは一応僕らも動いてやってはいるんですけど、ものづくり事業実行委員会のやつは今のところそこまで動けてないので、その辺もどう動いていいか、まだ見えてないような感じやったりするのでね。もっと何したらいいねんみたいなんがあると動きやすいんですけど。

○古川区長

飛行船は飛びそうな感じですか。

○南委員

あれは一応形には。一応スポンサーに付いていただけたみたいなので、どこまで言うていいか分かんないですけど、一応大手のガス屋さんがスポンサーに付いてくれはったので、今まで僕らは飛ばしてくれって言われても、じゃあこのヘリウム代誰が出るのみたいなどころでなかなか二の足を踏んでたんですけど、なんばでも出でて言うてくれてはるみたいなので、今後やりやすいかなと思っております。

○古川区長

情報ありがとうございました。

次の質問のまちごと万博ですけど、私も名前は聞いたことあるなという感じですけど、あまり関わったことはなくて、今、ホームページをさっと調べたら、大阪まちごと万博共創プラットフォームという運営団体が仕掛けているということで。どんな団体かというと、大阪商工会議所、大阪府・大阪市万博推進局、それから、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会ということなので、本当に団体ですね。商業団体等ですので、どういう動きになっていくのか。でも、まちおこしというか、これを機に世界に売り込もうとか、そういう時にはこのプラットフォームはもしかしたら使えるかもしれないですね。引き続き研究はしてみます。

○北川議長

ありがとうございます。

他。土井さん、ないですか。

○土井委員

僕も南さんとか木幡さんと一緒に万博の出展でわくわくしたいところなんですけれども、なかなか情報がなくてみたいなところで、盛り上がり方が分からないう全く南さんと一緒に。でも、これを見るにつけ、本当に日本人ってお祭り好きやなと思いながら見てたんですけども。

何せ万博って言うたら大きなお祭りではあるんですけどね。ちょっと難しいな。ほんまに意見ないんですけど、さっきの大津さんの話で、ドイツの方と関係を築いたっていって、ドイツのボードゲーム、僕もカタンとかドミニオンの大ファンなんで、その時が来たら声をかけてもらえば参加したいなと思います。

○北川議長

どうもありがとうございます。

○古川区長

私から質問していいですか。

土井さん。モルック、どうなりましたか。

○土井委員

モルックは、あれドイツちゃいますよ。

○古川区長

はやらせようって、ここで話したことあるじゃないですか。

○土井委員

そう言うんやけど、活用が厳しいという判断やったような気がして。

あの時に提案したのは、完全無人の、手ぶらで行ったらモルックを遊べるみたいな感じのね。そんなんどうかなと思ったんやけど、モルック自体やったら、それこそアンパンマン公園とかでできるかな……。

○北川議長

すいません。北方さん、どうぞ。

○北方委員

つくる人の盛り上がり、すごい大切なんんですけど、参加する人がどんだけいるかによって、これは成功するっていうことだと思うんです。区民の立場として、それで私ここに参加するのは高齢者の立場として参加しているんですけども、高齢者ってあまり、みんな興味ないねんね。何でかいうたら高い、参加費が高い。大阪の人間が税金払うてんのに、もっともっと大阪の人間に優遇できないんかっていうのをみんな意見言っているんですね。それは一個も聞いたことないんです。

そしたら、大正区民はどうかいうたら、大正区のほうは、役所のほうで大正区民だけ少し、100円でも、200円でも、ほんまにちょこっとのものんでも応援姿勢があれば、大正区民もちょっとのぞいてみようか、大正、得やなあという。ちょっとお得感が全然ないんだわな。高いし、家族4人おったらどんだけ要るかとか、そんなん考えたらみんなね。そら1回ぐらい行ってみようか言うけど、そんなに続けへんと思うんですね。

高齢者なんか特に参加せえへんと思うんです。ほんたら、若いもんだけの盛り上がり。高齢者多い大正区、ほんたらほとんど参加せえへんという感じになっちゃって、参加する人がどんだけいるかによって成功というのもプラスになるんじゃないかなと私は思うんです。大正区、考えてください。

○北川議長

ありがとうございます。

じゃあ、中島さん。

○中島委員

私も入場料のことはかなり気になってて、7,500円、うちは行きません、それだったら。それともう一つ、小中学校、高校ですかね、18歳の無料。これは学校単位で行かなあかんのですよね。というふうに聞いています。そうではなくて、何回行っても18歳未満はただと。一緒に行つた高齢者、65歳以上の人には半額にするというような思い切った大阪市民に対する。税金たくさん払っているんで、税金かなり投入されているはずなんで、そのぐらいのことはできるんじやないかなと。そうすると、小学校の単位で行つてしまうと、こどもたちだけ行くんですよ。でも、親も付いていたら、多少はそこで収益も上がるんじやないかなと。だから、親だとかおばあさん、おじいさん一緒に行こうというような取組をしてあげないと、学校でなんぼ行つたとしても「どうやった」って聞くだけで、われわれが行こうというふうには僕は少なくとも思わないですね。

ただ、こどもがただなんやつたら一緒に連れていってあげようかっていうことで行く可能性はあると思うんで、ぜひそういう思い切った、今からでもそれは間に合うと思うんで。例えば65歳以上でお孫さんがおつたら、行つたら65歳の人もついでにただにしてあげるというぐらいの思い切った施策をして、みんなで行こうよっていうところから始めたらどうなのかなっていうふうには思いますんで、ぜひよろしくお願ひします。

○北川議長

ありがとうございます。

藤田さん。

○藤田委員

私は1970年の万博の時に10歳でして、三菱未来館とか、日本館とか、アメリカの館で月の石とかですね、非常にわくわくして期待して2回ほど行かせてもらったんですけど、今回、何が何だというのは、その決め手というものがなかなかない。それは始まっているんで、建築しているんで仕方ないですけど。

ちょっと話を変えますと、幸楽園、6月に開設10周年を迎えまして。職員相手のパーティーを12月9日と16日にしますが。そこでくじ引きを引いて、当たつたらまたま万博の入場券、4月13日の入場券が当たると。これは言っていいのかどうか分かんないんですけど、当たるんですね、1人か2人。それを見て初めて、近くっていうか、万博をやるんだなという認識が出始めたんですよ。ですから、入場券高いからとか、あるいはスマホの中で見える入場券と、じゃなくて何かもうちょっと物があったら、見えたたら、あと4ヶ月、5ヶ月で開催なんだというふうになるんですけど、それもあんまりないです。1970年の時は、「ここにちは、ここにちは、世界の国から」という歌があちこちで流れていたんですけど、今はコブクロさんの歌なんんですけど、あんまり流れてないような気がして、時々聞こえてきて、そういうふうになるんですけど。そういうことをもうちょっと宣伝というか何か区からもできないかなというふうに思っております、入場券はこんなんですよとかってあれば、何となくまた近くなってくるのかなって、感覚的にというふうに

思いました。

○北川議長

ありがとうございます。

他はございませんか。

じゃあ、区役所のほう。

○大津区政企画担当課長

貴重なご意見、ありがとうございました。

中島委員のご意見の件につきましては、すいません、もう一回きっちり調べますけれども、校外学習、いわゆる遠足で行く予定の学校は会場までバスで行く、もしくは森之宮駅までバスで行って、そこから専用電車で夢洲駅へ行くという方法があるみたいです。ただ、どちらもバスを利用出来るかどうかは抽選で決められているようで、抽選に当たった学校はいいんですけども、抽選に漏れた学校は、チケットを子どもに渡して個々で行ってもらうみたいなこともありますので、学校によって違いがあるようです。

あと、藤田委員からのご意見の万博のチケットですが、今、大阪市では万博 ID の取得やチケットの購入をサポートするサポートデスクを最近、区役所持ち回りで、あと民間のイオンとかで開設しています。大正区役所でも 12 月 23 日から 27 日にかけてさわやか広場で開設しますが、そこに来てもらおうと思ったら、まずおっしゃるようにチケットの宣伝をもうちょっとしつかり……。

○南委員

まだ早割で 6,700 円。

○大津区政企画担当課長

そうなんです。超早割券の販売は終わりましたけれども、まだ早割の 6,700 円の券がありますので、そこらの PR が大事になるのかなと感じたところでございます。

○古川区長

サポートデスク、私が所属しているまちづくり・にぎわい・環境部会というところで、チケットが取りにくい、特に高齢者の方はデジタル対応が難しいということで、万博推進局のほうで考えててくれて各区を回ってくれることになりました。ただ、1 週間単位で来るだけなので、なかなかそこに行ってチケットを取ろうと思い立つ人がどれだけいるかということにはなるんですが。大正区はたまたま今月です。具体的な日には…。

○大津区政企画担当課長

12 月 23 日から 12 月 27 日にかけてです。

○古川区長

さわやか広場で万博来場サポートデスクというのを開設します。何をやってくれるかというと、スマホを持っていけば予約してくれます。専門のスタッフが手取り足取り教えてくれますので、まず万博のホームページ、どこを見ればいいのかというところから始まってチケ

ットを取るところまで一緒にやってくれます。まだ早割で買えますので、高齢の方で、かつスマートフォンをお持ちの方であれば、ここが一番お勧めかなと思います。

あと、イオンモールとかにも、それぞれこのサポートデスクが回っておりますので、京セラドームのところにも、もう一回来るんじゃないかな、確かにそういう日程になっていたと思います。いずれにしても、ホームページを見れば、若年層や高齢でない方は何とかなるんですが、なかなかデジタルデバイドと言われる方々、そもそも苦手意識のある方が取つつきづらいというのがありますし、デジタル化も進み過ぎるとなかなかキャンペーンが難しいなと今痛感しているところでございます。

万博の盛り上がり方が分からぬという土井さんのお話ですけど、来場者として盛り上がるっていうことがまずは基本中の基本だと思うので、先ほど出場側としてはどうやっていくんだったかなと迷走している部分もあるんですけど、まず私ども市民は来場者として、この万博を楽しまなければなりません。そういう意味では一つでもパビリオンの情報が流れることが大事なんですけれども、今、建設現場の施工状況、どの国のパビリオンがどこまでできたというのは口外してはならないということになっていて、このパビリオはこんな感じで楽しそうですよという映像すら出せないという。今そういうルールの下で博覧会協会が進んでいるので、なかなか実感できないんですね。

なので、そこが解禁になる時が来れば盛り上がりが急に進むでしょうし、何よりもまずチケット予約が始まれば…。私もチケットをもちろん買ったんですよ、買ったんですけど、このチケットでいつ行くかがまだ決まってないんです。皆さん全員そうだと思いますが。その自分の行く日を今度は予約しなきやいけないんですね。そうすると、最初に出現するのが、もう土曜日、日曜日は取れなかつたっていう声がたぶん出てくるんですよね。人気ないはずじゃなかつたの、万博は？ってなるんですよ。ところが、ちゃんと普通に楽しみにしている人はいるのに、楽しみになんかしてないということをことさらに吹聴する人が騒いでいることが多いので、普通に楽しみにしている人がまずぱっと取りますよね、自分の希望するところを。そうすると、あら土日は全部空いてなかつたわという情報が流れれば、さすがにみんなお尻に火がついて、じゃあ平日でもいいから休んででも行こうかって、こうなってくる。まずは予約状況が世の中に流れ始めるということが最初のステップかなあと、私は期待しています。そこからどんどん相乗効果で人気が出ていくのかなと期待はしています。何より映像が欲しいですよね、パビリオンの。それは万博を所管する部会の区長としても切に願つているところでございます。

#### ○前田こども・教育担当課長

追加でいいません。こども・教育担当の前田と申します。

中島委員から万博の入場券の話がございましたので、追加で報告させていただきたいと思います。

大阪市では、大阪・関西万博こども体験事業としまして、こどもたちが未来社会の先進的

な技術やサービス等に触れる体験を重ねて将来へ向けて希望を感じ取ることができるよう夏休み期間中、令和7年7月19日から8月31日に、この大阪・関西万博に複数回入場できる夏パスというものがプレゼントされます。

対象者につきましては、申請時点におきまして市内に居住し、令和7年4月1日時点の年齢が4歳から17歳のこどもとなっております。申請につきましては、大阪市のホームページを通じて申請できますので、またこういった内容を知っていただき、たくさんのかどもたちに万博に行っていただきたいと思います。

○北川議長

ありがとうございました。

それでは、これで議題2を終了させていただきます。大変貴重なご意見いただきまして、ありがとうございます。またこれを生かしていきたいと思います。

それでは、区役所のほうから追加ございましたら、どうぞ。

○大津区政企画担当課長

それでは、第2回の区政会議でご意見をいただきました大正区地域福祉ビジョンの改定につきまして、ご意見を踏まえた変更点につきまして保健福祉課長の貴志よりご説明させていただきます。

本日配布いたしました書類番号3、A4の1枚物の資料なんですけれども、右肩に書類番号3と書いてあります「第2回区政会議でのご意見を踏まえた修正のポイント」という資料のほうをお手元にご用意ください。

○貴志保健福祉課長

保健福祉課長の貴志でございます。着座にて説明をさせていただきます。

書類番号3で、第2回区政会議でのご意見を踏まえた修正のポイントをご説明させていただきます。

まず初めに、前回の区政会議で地域福祉ビジョンの改定に係るご意見、本当にたくさんのご意見を頂戴いたしました。まずもってお礼を申し上げます。その中から、特に計画に反映させるべきポイントを2つほど抽出させていただきました。

まず、1点目としまして、ご高齢の方の活動参加に関するご意見でございます。ご高齢の方は、自分からやりたいことがあっても役所にまで相談に行く人はいらっしゃらないのではないかと。非常に敷居が高いということで、その敷居を低くすることはとても大事なことなのではないかというご意見を頂戴したところでございます。対応としまして、地域福祉活動への多様かつ柔軟な参加の方法について検討する旨を計画に追記させていただきました。

もう一点、健康寿命について。健康増進をうたうのであれば、健康経営優良法人は非常に役に立つ制度だと思う。ぜひ、うまく使っていただきたいという旨のご意見を複数頂戴したところでございます。それを受けまして、今回新たに追記しました「健康寿命の延伸」という項目、その具体的な取組の箇所に、健康経営優良法人の取得を後押しするための取組につ

いて追記をさせていただきました。

あと、健康経営優良法人認定、あるいは健康経営という、その言葉にまだなじみがない方も多いというご意見も頂戴しましたので、その具体的な内容がイメージしやすくなるように注釈を追加させていただいたところです。

資料はこれだけなのですが、いただいたご意見をこのような形で反映させていただきまして、来年1月からパブリックコメントということで広く皆さん方のご意見を頂戴して、それを最終的に反映させて計画を出させていただこうと思っております。これ以外にも専門家の皆さんにご意見を聞く会議をさせていただいて、複数の意見を反映させていただいたものをパブリックコメントの案としてホームページ等に載せますので、それをご確認いただきまして、もし何かご意見ございましたら、どしどし応募していただければと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

私からの説明は以上でございます。

○北川議長

ありがとうございました。

それでは、第3回大正区区政会議をこれにて終了とさせていただきます。皆さん方には議事進行につきまして大変ご協力いただきまして、ありがとうございました。

○大津区政企画担当課長

北川議長、どうもありがとうございました。

それでは、本日の配布資料の中にご意見シートがございますので、本日の会議でご発言できなかつたことや本日の議論を踏まえて改めてご意見、ご質問がございましたら、ご記入の上、12月20日の金曜日までにご提出をお願いいたします。

それでは、本会議の結びに当たりまして、区長の古川より総括を申し上げます。

○古川区長

今日は2つのテーマについて、その場で一問一答とまではいかなかつたんですけど、包括的に私のほうからご回答申し上げたので、質疑応答についての補足は特にございません。

今後の万博への期待感を盛り上げるために、まだ区役所ができることはないのかという点は少しずつ考えていくたいと思いますし、通常予算の中で、北方委員がおっしゃったように何か市民への補填ができるかというと、その予算までは組んでいられないで、それはできないんですけども、その辺を大阪市に「何かないの?」ということを部会を通じて区長会から提案していくとか、そういう可能なことはやっていきたいと思います。それはチケットの売れ行きとか、いろんなものを総合的に判断して、大阪市と博覧会協会が考えていくことだと思いますので、そこは情報があれば、すぐに皆さんにお伝えしたいと思っております。

それから、出演する側としてのわざかな場面があるんですけど、今日はあまり話題にならなかつたんですけど、女性会ってありますよね、大正区には。この女性会がものすごく活発で、他の区ではあまりこういうことはないんですよ。今、67地域ぐらいしか大阪市全体で

ない、そのうちの 67 のうち 9 地域が大正区ということで、本当に女性会がまだ活発に活動しているのが大正区の特徴でございまして、それを 7 月 27 日、万博の本番に、この女性会が 100 人規模で、万博会場で浴衣を着て踊っていただく「総踊り」というのをやります。区民まつりの時にやつていただいているあの「総踊り」でございますが、それを万博本番でもやつていただける約束をしております。会長の谷田さんはじめ、本当に皆さん楽しみにしていらっしゃるし、たぶん練習も、通常の区民まつりですら厳しい練習を踏まえてご参加になるんですけど、姥委員も踊るんでしたっけ。今はやつてらっしゃらないですね。

たくさん地域の方、お知り合いの方が踊りで出ると思うので、圧巻だと思いますので、ぜひ、それを PR していく。また、それを見るために、地域の皆さんのお嬢姿を見るためにも、また来場者として同じ日を予約して万博の会場へ行つていただけると楽しいかなと思っております。これからそんな万博会場にどうしたら足を運べるのか、運ぶ意味づけというのでしょうか、動機づけをどうやっていくかを皆さんにお知らせしていくことによって、大正区民の皆さんが一人でも多く楽しんでいただけるように私どもも工夫します。

その他、鶴浜地区の活用につきましても、本当にたくさんのご意見、ありがとうございました。今後の土地活用の参考とさせていただきます。

本日は長時間にわたりまして、本当にありがとうございました。

○大津区政企画担当課長

それでは、これをもちまして本日の区政会議を閉会とさせていただきます。

次回の区政会議ですけれども、来年 2 月 27 日の木曜日、2 月 27 日木曜日の 19 時からです。場所のほうなんですけれども、次回、区民ホールではなくて、向かいの大正会館の 3 階のホールになりますので、また案内のほうは送らせていただきますけれども、場所のほう、次回、大正会館の 3 階になります。

大正会館のほうなんですけれども、オンライン会議ができない状況になっておりますので、大変申し訳ないんですが、当日は直接会場のほうに足を運んでいただきたく思いますので、どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、

本日は遅くまで誠にありがとうございました。

午後 8 時 31 分閉会